



# 新治小学校だより

令和元年度

## 10月号

学校教育目標：ひびく心 はずむ体 見つめる目

～新治のよさを持続して活かしながら、

よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指して～

令和元年 9月 30日

## 学びの楽しさを感じ取り、共に学び合う授業をめざして

校長 宮本 雅司

秋の訪れを感じる季節となりました。子どもたちの笑顔や明るい挨拶がとて心地よいです。社会でも大切な力として、今年度重点を置いて指導していますが、昨年度に比べ、挨拶できる子は着実に増えていることを実感しています。ご家庭での励ましも引き続き宜しくお願いいたします。



学校全体では、前期の教育活動を振り返り、後期に向けて授業や行事等の検討をしています。表題は、今年度、私たち教職員が重点的に取り組んでいる授業づくりのテーマです。

クラスの仲間や先生の話をよく聞いて学んでいる姿、生き生きと自分の考えを述べている姿、誰に対しても温かく優しく接している姿など、学校では素敵な子どもたちの姿にたくさん出会えます。が、子どもたちはまだ勉強中なので、その逆の姿も…。

先日の授業づくりの勉強会では、大学の先生をお招きして数多くのご示唆をいただきました。「構想はラフに子どもたちと思いや願いを共有して」「一人一人の個性をつなげて」「誰一人取り残さないように」「どうしてその活動をしているのか育てたいねらいを大切に」「新治ならではのよさを生かして」等です。新治の恵まれた環境のもと、教育活動を支援してくださる地域や保護者の方々々と連携しながら、主役である子どもたちのより望ましい姿を求めて、教育活動の改善を進めていきたいと感じています。

9月は今年度2回目の『はぐくみの会(学校運営協議会)』がありました。各学級の授業参観をした後、学校の状況についての話し合いをしました。ほんの一部ですが主な話題です。

- 普段の授業が静かに落ち着いている様子が感じられた。去年賑やかだったクラスも今年はよい。
- 子どもたちはキッズでは賑やかだが、授業中と切り替えている様子が分かった。
- 静か過ぎないか気になる。元気なときもあるので心配はないか。休み時間等の行動を見守りたい。
- 昔は無かった教室のアコーディオンカーテン。開け閉めのルールはない。使い勝手はどうか。冷房が必要な時期は閉めている。しきりがあるから子どもが集中できるのかもしれない。廊下の辞書等を進んで活用できる環境としてのオープン教室のよさもある。
- わくわくデーの内容の変更。子どもたちが学習を生かして主体的に活動できる行事に改善していく。

～全国学力・学習状況調査の結果(6年生)です～

4月18日に実施された調査結果が公表になりました。主な結果は次の通りです。



平均正答率(%)	国語	算数
<b>新治小学校</b>	<b>58</b>	<b>66</b>
神奈川県公立小学校	61	67
全国公立小学校	64	67

割合(%)	人の役に立ちたい	いじめはよくない
<b>新治小学校</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
県公立小学校	94	97
全国公立小学校	95	97

割合(%)	学校に行くのは楽しい	自分にはよいところがある	将来の夢や目標をもっている	家で学校の出来事を話している	地域・社会の為にどうすべきか考えている
<b>新治小学校</b>	<b>74</b>	<b>83</b>	<b>64</b>	<b>60</b>	<b>45</b>
神奈川県公立小学校	85	81	82	77	53
全国公立小学校	85	81	83	77	54

この他に、「学校でのルールや約束を守る」ことや「勉強の大切さの自覚」は比較的良好な結果でした。数値は平均値で、紙面調査の結果です。個々の子によって違いや差はあります。数値が低かった項目は、今後の授業や学校生活上の指導改善に役立てていきたいと思っております。